

衝撃の日本デビューから35年、キーシンの進化を聴く

寺西基之（音楽評論家）

今年50歳を迎えたエフゲニー・キーシン。15歳での初来日からは35年、その節目の年に彼はまた日本にやってくる。

キーシンの日本デビューの衝撃は今でも筆者の記憶に強く刻まれている。“ソ連が生んだ天才ピアニスト”という触れ込みに半信半疑の思いもあって出かけたのだが、演奏開始後瞬間にそうした疑念は吹き飛び、ただただその音楽に惹き込まれてしまった。それは鳴り物入りの神童によくありがちな単に指がよく回るといった次元のものではなく、自然な流れのうちに陰影と生気を湛えた演奏で、あどけなさの残るひよろとした少年が奏でているとはとても思えない音楽的センスを感じさせるものだった。

以後キーシンは今日まで何度も来日を重ねてきたが、その音楽の基本スタイルはすでに少年期から確立されていたといってよい。奇を衒ったり派手な効果を狙ったりせず、作品に対して正攻法でアプローチしながら、そこに豊かな感性を息づかせて生き生きとした表情に富んだ音楽を作り上げていくのが彼の身上だ。来日の度に彼の演奏には進化がみられ、特に最近の彼の音楽には巨匠的といえる風格が漂うが、それは新しい要素が加わってのものではなく、自身本来のスタイルを掘り下げて内側から熟成させている結果といえよう。近年の様々な演奏潮流には与せず、一貫して自身の路線を迷わずに究め続けるその姿勢は求道者的な厳しさすら感じさせる。

そうしたスタイルや音楽に対する姿勢を彼に植え付けたのが、グネーシン音楽学校の名伯楽アンナ・カントールだった。かつて来日の際に常にキーシンに母親のように寄り添っていた彼女は、まさにキーシンの音楽上の母といえる存在で、キーシンの才能は彼女によって引き出され、育まれたといってよい。今回の来日演奏会はずいぶん先98歳で世を去ったこの恩師へのオマージュとしての意味を持つ。円熟を深めている今のキーシンが師への思いと感謝を込めて奏でる音楽にじっくり耳を傾けたい。

エフゲニー・キーシン(ピアノ)

Evgeny Kissin, Piano

© F Broede EMI

エフゲニー・キーシンは、その音楽性、深く掘り下げた詩的な解釈、卓越した演奏技術により、同世代の中で、そしておそらく過去の世代においても、最も才能あるクラシック・ピアニストの一人として、その資質にふさわしい尊敬と称賛を得て来た。彼は世界中で人気を博し、これまでにアバド、アシュケナージ、バレンボイム、ドホナーニ、ジュリーニ、レヴァイン、マゼール、ムーティ、小澤征爾など多くの世界的名指揮者や世界の一流オーケストラと共演している。

1971年10月モスクワ生まれ。2歳の頃、耳で聴いた音楽を演奏したり、ピアノで即興的なものを弾いたりし始めた。6歳で、才能ある子供たちのための特別の学校である、モスクワのグネーシン音楽学校に入り、現在に至るまで彼の唯一の教師であるアンナ・バヴロヴァ・カントールに師事。10歳でモーツァルトのピアノ協奏曲(K.466)を弾いて協奏曲デビューを果たし、その1年後には初めてのソロ・リサイタルをモスクワで行った。1984年3月、12歳のときに、ドミトリ・キタエンコ指揮/モスクワ・フィルとともに、モスクワ音楽院大ホールでショパンのピアノ協奏曲第1番と第2番を演奏し、世界的に注目されるようになった。この公演はメロディアによりライブ収録され、翌年2枚組LPのアルバムがリリースされた。この録音の大成に続き、メロディアはその後2年間のうちに、モスクワで行われたライブ公演のLPをさらに5枚リリースすることになった。

彼がロシア国外に初めて登場したのは1985年の東ヨーロッパであり、翌年には初めての日本ツアーを行った。1988年12月、ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮/ベルリン・フィルとともに、ニューイヤー・コンサートで演奏し、全世界で放送された。1990年、ロンドンのBBCプロムナード・コンサートに初めて出演。同年、北アメリカでもデビューし、ズービン・メータ指揮/ニューヨーク・フィルとショパンの協奏曲第1番と第2番を演奏した。翌週には、カーネギー・ホールの百周年シーズンの開幕を飾る見事なデビュー・リサイタルを行った。このリサイタルはBMGクラシックによってライブ収録された。

2020-21シーズンは、リサイタルの他、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団と、グスターボ・

ドゥタメル指揮のもと、リストのピアノ協奏曲第1番をザルツブルク音楽祭にて演奏。

世界中から音楽賞や記念賞が次々と与えられており、1986年の最高の演奏として(これが日本での最初の演奏だった)大阪、ザ・シンフォニー・ホールのクリスタル賞が与えられた。1991年には、イタリアのシエナのキジアーナ音楽アカデミーから年間最優秀音楽賞を受賞。また、1992年のグラミー賞授章式に特別ゲストとして招かれ、推定10億人以上のテレビの聴衆を前にライブ演奏を行い、1995年には「ミュージカル・アメリカ」の器楽賞を最年少で受賞した。1997年、ロシア文化への彼の傑出した貢献に対して、名誉ある凱旋賞(Triumph Award)が与えられた。これは、ロシア共和国で与えられる最高の文化的栄誉のひとつであり、ここでもキーシンは、史上最年少の受賞者となった。マンハッタン音楽大学から名誉音楽博士号、ロシアの音楽界における最高の栄誉の一つであるショスタコヴィチ賞、ロンドンの英国王立音楽院の名誉会員資格、そして直近では、香港大学より名誉博士号を授与された。

一番最近のリリースは、ドイツ・グラモフォンからのベートーヴェンのソナタ・アルバムである。これ以前の録音においても、世界の大演奏家達による名曲コレクションに多大に寄与しており、無数の賞を与えられている。その中には、オランダの「エディ・ゾン・クラシック」、フランスの「金の音叉賞」とヌーヴェル・アカデミー・ドゥ・ディスク(La Nouvelle Academie du Disque)の「グランプリ」などがある。2006年には、スクリャービン、メトネル、ストラヴィンスキーの作品を収録した録音(RCAレッド・シール)により、グラミー賞(最優秀器楽ソリスト部門)を、2002年には、エコー・クラシック賞(最優秀ソリスト)を受賞した。直近では2010年に、ウラディミール・アシュケナージ指揮/フィルハーモニー管弦楽団との共演で演奏したプロコフィエフのピアノ協奏曲第2番、第3番の録音(EMIクラシック)により、グラミー賞(最優秀オーケストラ共演器楽ソリスト部門)を受賞した。

キーシンの卓越した才能に感銘を受けたクリストファー・ニューベンは、ドキュメンタリー映画「エフゲニー・キーシン：音楽の贈り物」を制作。同作品は、2000年にビデオとDVDとしてRCAレッド・シールからリリースされた。

エフゲニー・キーシンピアノ・リサイタル 2021年日本公演スケジュール

- 11/2(火) 所沢市民文化センター
(問) ミュースチケットカウンター 04-2998-7777
- 11/6(土) ザ・シンフォニーホール
(問) ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
- 11/14(日) 愛知県芸術劇場コンサートホール
(問) CBCテレビ事業部 052-241-8118

Twitterでフォローする
@japan_arts

<特別割引チケットのご案内>

(ジャパン・アーツびあコールセンター及びWEBジャパン・アーツびあで受付、川崎公演は神奈川芸術協会でも受付。)

- 学生席 (各ランクの半額/座席の指定が可能です) 残席がある場合に限り、10/10(日) 10:00より受付を開始いたします。※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般席との差額を頂戴いたします。) 学生席はジャパン・アーツ夢倶楽部会員の方も、一般価格の半額です。
- シニア・チケット=65歳以上の方はSS, S, A席を会員料金でお求めいただけます。
- 車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(東京公演はジャパン・アーツびあコールセンターで、川崎公演は神奈川芸術協会で受付)

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい。

- やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。
- 公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。■ いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意ください。
- 演奏中は入場できません。■ 未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方でもご入場には1人1枚チケットが必要です。■ 全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。■ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。■ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。■ 他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。■ 公演実施の可否は新型コロナ・ウイルス感染状況を見極めて慎重に判断させていただきます。



EVGENY KISSIN

円熟を迎えた若き伝説キーシン 精神的深まりを聴く、ベートーヴェンの傑作群

ベートーヴェン・リサイタル～《月光》《熱情》《告別》

CD1

ピアノ・ソナタ第3番 (録音:ソウル2006年)

創作主題による32の変奏曲 (録音:モンペリエ2007年)

ピアノ・ソナタ第14番《月光》(録音:ニューヨーク2012年)

エフゲニー・キーシン(ピアノ) SHM-CD(2枚組):UCCG-1772/3 定価 ¥ 3,500(税抜価格)+税

CD2

ピアノ・ソナタ第23番《熱情》(録音:アムステルダム2016年)

ピアノ・ソナタ第26番《告別》(録音:ウィーン2006年)

ピアノ・ソナタ第32番 (録音:ヴェルビエ2013年)

発売・販売元:ユニバーサル ミュージック

<http://www.universal-music.co.jp/classics/>

ユニバーサル ミュージック ストアから商品が購入できるようになりました! (一部商品を除く) <http://smarturl.it/um-classics>

ニュースレター会員募集! 無料で最新情報を! <http://umusic.ly/umnews>



クラシックはドイツ・グラモフォン

Access Here ▶

